

1 開会及び閉会に関する事項

開 会 令和元年10月30日(水) 午前10時00分
閉 会 令和元年10月30日(水) 正午

2 出席した構成員の氏名

大津町長	家入 勲
大津町教育委員会教育長	吉良 智恵美
大津町教育委員会教育長職務代理者	中尾 精一
大津町教育委員会委員	斎藤 陽子
大津町教育委員会委員	津留 武芳
大津町教育委員会委員	寺下 早苗

3 構成員及び傍聴人を除く外、会議に出席した者の氏名

教育委員会教育部長	市原 紀幸
教育委員会教育部次長	野村 宗生
教育委員会教育部学校教育課長兼教育支援センター長	羽熊 幸治
教育委員会教育部子育て支援課長	大隈 寿美代
教育委員会教育部生涯学習課長	荒木 啓一
総務部総合政策課長	清水 和己
総務部総合政策課審議員	田島 慎也
教育委員会教育部学校教育課審議員兼指導主事	福田 恒臣
総務部総合政策課企画政策係長	田上 雄一
教育委員会教育部学校教育課施設係長	古庄 大輔
教育委員会教育部学校教育課学務係長	辻口 浩二

4 傍聴人の有無

有り (1人)

5 協議題を提出した者の氏名

①公共施設個別施設計画策定について	(田上係長)
②新学習指導要領の全面実施に向けたICT環境整備について	(福田審議員)
③待機児童対策について	(大隈課長)

6 質問及び討論

①について

質疑 大津町の宝である子どもたちが公平に学校で活動できるために、学校によって開きがあるので、遅れが無いようにしてほしい。

答弁 計画は長期的スパンで費用負担を平準化することを考えていますので、対応を後回しすることもあれば早まることもあります。今後は、学校教育課や財政課と協議を進めながら対応していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

答弁 調査に関しては、業務委託を進めていますが、基本は目視による調査。屋根や外壁は目視で調査を行い、電気設備、機械設備に関しては、経過年数でランク付けをしていくことになります。調査をする職員に対しても研修を行って、きちんと調査を行いたいと思います。

質疑 計画だけでなく、未然に防ぐことも大事なので、しっかり対応できるところで考えてほしい。またマネジメントシステムについても詳しく教えてほしい。

答弁 毎年1回は調査を実施してその結果をシステムに登録することで状況管理ができるシステムになっております。今回、導入することで毎年状況確認ができるようになります。

質疑 学校管理の中心は事務の先生なので、事務の先生も研修に参加できると良いと思いますが。

答弁 研修については、学校教育課と相談しながら進めたいと思います。

②について

質疑 タブレットについて、先生の研修も進んでいる状況なので、導入時に授業等で活用できるレベルまできているのかお聞きしたい。

答弁 現在各学校に40台程度導入しています。昨日、室小学校で研究発表会がありましたが、タブレットを活用した授業では、子どもたちも意欲的でした。しかし台数が限られていることもありますので、全ての職員が常に活用するスキルを持っていると言われるとなかなか難しい面があります。今後は、整備を進めながらタブレットを活用できるスキルを高めるような研修を進めていきたいと考えています。

質疑 導入の進んでいる市町村もあると思いますが、大津町は243台と限られた台数で取り組まれている状況ですけど、その反面ワーキンググループなどで勉強を先生がされているとの印象があります。物がないと始まらないので、ぜひ導入していただいて実用的に活用してほしいです。

答弁 電子黒板を導入した際も、物があっても使う人の能力がないと無駄になるのではないかと思います、少しずつ導入することにしましたが、やっぱり物がないと先生たちは、それをうまく使いこなせるような形にならないので、私たちはそのような形に持っていけないといけないのかなと思っています。

質疑 タブレットは3人に1人で、1032台必要ということでよろしいですか。

答弁 その通りです。

答弁 電子黒板の導入は早かったのですが、その後少しずつ導入していましたが、先生たちのスキルも必要でしたので、ICT推進員の支援や研修会も多く行っていますので、機器の使い方の支援よりも授業の中でどう使っていくかのサポートに変わってきていますので、タブレットの導入が必要かと思います。

質疑 使い出したら子どもはすぐ覚えていくと思いますので、先生と一緒に勉強をするのにもいいことだと思っていますので、ぜひ導入をお願いします。

質疑 3人に1台とのことですが、1人に1台導入されているところもあるのですか。

答弁 例えば、佐賀県武雄市などは1人に1台導入されています。ゆくゆくは1人に1台ととらえていますが、まずは3人に1台導入後、判断していきたいと思います。

③について

質疑 保育士確保については難しいところがありますが、大津町でもいろんな事業を取り組んでいますが、それでも確保は難しい状況ですか。

答弁 難しい状況です。来年度は、保育園ツアーは1回でなく、2回の開催を検討しています。各園を回りながらつながりを構築しながら検討してまいります。

質疑 新たな施策も検討してほしい。

答弁 効果的なものを検討していきます。

質疑 保育士ではなく、補助員を付けることはできませんか。

答弁 3人に1人の保育士が確保できない状況ですので、難しい状況です。

質疑 バスキャッチについて、各学校で使うことができないのでしょうか。

答弁 学童保育に入れていますが、学校に入れることも可能だと思います。